

# POS、セルフチェックアウトのハードウェア清掃ガイド

東芝製品は過酷な小売環境でも動作を続けられるように設計されています。利用時、POSやセルフチェックアウト装置と周辺機器には、人(従業員、顧客の両方)が通常の操作の一環としてタッチします。東芝の保守マニュアルでは、表面の清掃に90%イソプロピル・アルコールの利用を推奨しています。東芝機器清掃のベストプラクティスについてはご利用の機器の東芝保守マニュアルをごらんください。滅菌や清浄の詳細情報についてはCDCの指針をごらんください。\*

サードパーティ/I/Oなど、システムに接続された東芝以外のハードウェアについては、それぞれのベンダーの指示に従ってください。

## 推奨清掃ソリューション:

**90%** イソプロピル・アルコール

## 頻度:



必要に応じて頻繁に清掃していただいても、装置の寿命や品質には影響しません

## その他のお勧め:



pCAPと互換性のあるスタイラスで画面に触れる  
選択肢もあります

## 注:

タッチ・スクリーン・ディスプレイなど通常の運用時に利用する表面を清掃するときは、システムの電源は入れたままでかまいません

東芝は、清掃の間、POSアプリケーションからログ・アウトすることをお勧めします

タッチ・スクリーンが濡れたままで清掃の間には誤入力が発生しますが、これは正常です

通常は触れない/操作しない表面を清掃するときは、清掃時にシステムを移動したり、ぶつけたりして問題が起きないように、POS/セルフチェックアウト・システムをシャットダウンしておくことをお勧めします。

ぶつけたり、衝撃を与えるとシステムのハード・ディスク・ドライブに損傷を与えることがあります

重要なI/O機器のケーブルは外しておきます

\*滅菌や清浄についてはCDC(アメリカ疾病管理予防センター)にご相談ください。医療、生物学上の専門知識については、CDCや世界保健機関(WHO)を参照してください。CDCの「環境の清浄と滅菌の推奨事項」をご覧ください。

## やるべきこと



マイクロファイバークロスまたは柔らかいタオルを使用します



クロス/タオルにクリーナーを噴霧して、清掃すべき表面をぬぐいます



清掃するクロス/タオルはびしょびしょにならない程度に湿らせます



電子機器内部の清掃については訓練を受けた保守担当者に相談してください

## してはいけないこと



機器に直接クリーナーを噴霧しない



研磨剤入りのクリーナー(粉)や研磨用具(たわし、研磨用パッドなど)を用いない



洗浄液で電子機器を濡らさない